

2023年度 ルール取り扱い等の連絡

所属各チーム並びに関係者各位

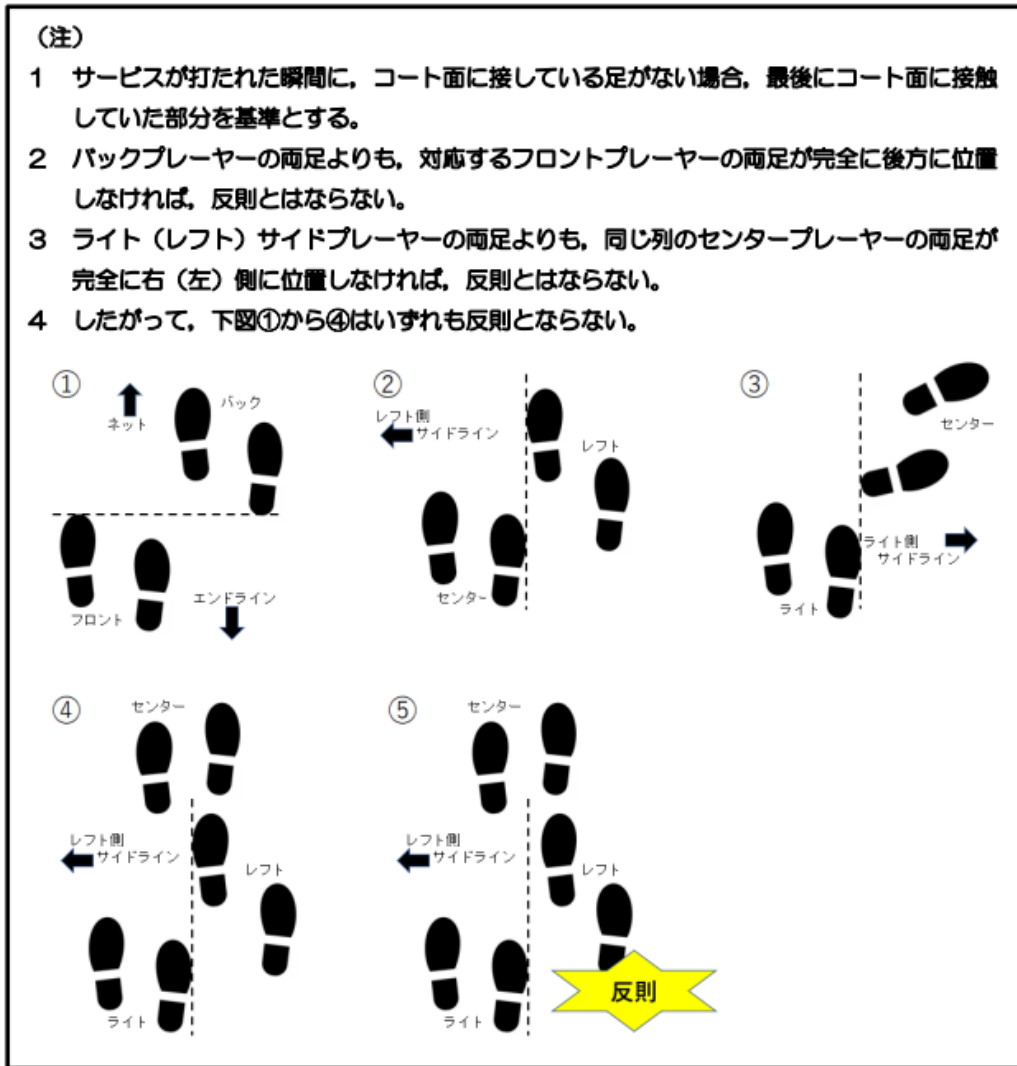
平素より本連盟の各種大会及び活動にご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。

今年度の6人制及び9人制のルール及び取り扱いが日本協会より伝達されてまいりましたので、所属チーム及び関係者の皆様に於かれましてはルールへのより一層の理解を深めていただき、益々円滑な大会運営へのご協力をお願いするところで御座います。

こちらの資料が、今後各チームの県内大会、九州大会、全国大会などでの活躍の一助となればと存じます。

【6人制取扱い】

- 1、ファーストレフェリーの判定に対するゲームキャプテンの質問は受け入れるが、判定に対する抗議や意見を述べる等の場合やゲームキャプテン以外の選手が質問に来た場合は拒否され、チームに対して口頭で警告される。
執拗に抗議をするようなケースでは警告(イエローカード)が与えられ、繰り返すような場合はペナルティ(レッドカード)が課せられる。
- 2、監督がセカンドレフェリーやスコアラーに話しかけることができるのは、リベロの再指名の時や得点が正しくない時などの声かけ程度のものであり、説明を求めたり、長く話しかけるようなことはできない。
- 3、ボールのティッピング(ワンハンド)ではボールは明瞭にヒットされなければならない、ボールをつかむ、投げる、ボールの方向を変える、持ち上げる様なケースでは反則となる場合がある。
- 4、ポジションに関しては、サービスが打たれた瞬間、両チームは(サーバーを除き)それぞれのコート内で、ローテーション順に位置していなければならない。
サービスが打たれた瞬間に、コート面に接している足がない場合、最後にコート面に接触していた部分を基準とする。下図を参照



5、ラインアップシートがセカンドレフェリーまたはスコアラーに一度提出された後は、ラインアップの変更はできない。

もしも提出した後でそのセットが始まる前に、スターティングラインアップの選手が負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに押し出て、確認後に変更することができる。→前述した取り扱いが適用されるので、チームは円滑な試合進行を鑑み、公式練習中やセット間にはできるだけ早くラインアップシートを提出すること。

6、セット間、およびタイムアウト終了のホイッスル後は、チームは速やかにコートに戻らなければならない。ホイッスル後に速やかにコートに戻らないと判断された場合はレフェリーによって促され、さらに引き延ばしたり、繰り返したりする場合は遅延の罰則が適用される。

- 7、遅延警告が適用された場合は、同じ中断中に正規の中断(タイムアウトと選手交代)の要求をすることはできない。
- 8、監督は試合中に自チームのベンチ前のフリーゾーンで立ちながら歩きながら指示を出すことはできるがラインジャッジの判定の妨げにならないようしなければならない。
- 9、リベロのリプレイスメントはボールデッドから次のサービスのホイッスル前までの間で行うこと。サービスのホイッスル後にリプレイスメントをした場合は拒否されないが、再発した場合は遅延行為に対する罰則が適用されることが、そのラリーの終了後にゲームキャプテンに伝えられる。

【9人制取扱い】

*上記6人制取扱い1, 2, 3, 6, 7, 8については9人制でも同様に扱われる。

- 1、他のコートからボールが侵入し、ラリーがノーカウントとなった場合は、ラリーがキャンセルされるため、第2サービスで始まったラリーであっても第1サービスから再開する。→外的要因でラリーを止めたためしかし、第2サービスで始まったラリーで、選手の負傷などがあり、ラリーが止められた場合には、ノーカウントとはならず第2サービスから再開される。→チームの責任範囲が要因となりラリーを止めたためなお、上記のような得点を伴わないラリーの中断後は、ラリーが完了していないため、すべての試合中断の要求が認められない。*けがや病気による選手交代は除く
- 2、セット間の選手交代について、セット終了時にベンチにいた選手は、だれとでも交代して次のセットの先発選手となる事ができる。
セット間に監督から次セットの先発選手の申し出がない場合には、チェンジコート完了後30秒を目安に副審がサービスオーダー票を基に確認を求められる。
なお、先発選手が申告され記録用紙への記入が完了した後でも、セット間終了(2分30秒)の吹笛前であれば何度でも変更を認められる。
- 3、監督が不在の場合にのみ、ゲームキャプテンはタイムアウトの要求をすることができる。
なお、監督がプレーヤーとしてコートに立っている場合は監督としての権限がなくなるので、タイムアウトの要求はゲームキャプテンのみが行うことができる。
- 4、複数のブロッカーにボールが触れた後、そのうちの一人の選手がネットプレーでさらに2回ボールをプレーした場合には計3回ボールをプレーしたことになりドリブルの反則となる。
- 5、9人制ではスクリーンの反則はルールブックに記載されていない。しかしあからさまにマナーを逸脱するような行為に関しては審判によって注意される。

- 6、ラリーが完了して次のサービス許可の吹笛までは6～8秒である。
チームは得点後に喜ぶような行為を規制されることはないが、前述した時間内で試合が進行されるように努めなければならない。よってサーバーは速やかにサービスゾーンへ向かうべきである。
- 7、複数の選手交代を要求する場合には、できる限り連なって選手交代ゾーンへ入るようにし、2組目以降の交代選手は副審のコントロールに従い、記録席横で先の交代が終了するまで待機しなければならない。
なお、明らかに遅れてきた要求に関しては不当な要求として拒否される。
- 8、タイムアウト中、チームはベンチ近くに位置しなくてはならない。
- 9、プロトコールにおいては、11分前に監督とチームキャプテンは記録用紙にサインし、その後、チームキャプテンはトスをする。
両チームによる公式練習は試合開始前3分である。
試合開始前1分30秒前に両チームはエンドラインに整列し、主審の吹笛であいさつを交わす。その後先発選手のサービス順確認を行った後、試合を開始する。
すなわち、チームは公式練習終了からエンドライン整列までの間は約1分30秒ベンチ前で待機しなければならない。この時間はミーティングや準備などに利用してよいが、ボールを使うようなことはできない。

*3, 6, 7, 8においては6人制でも取り扱いは同じである。

また、9のプロトコールの時間に関しては6人制3セットマッチにおいてポジションの確認等内容の異なるところはあるものの、時間の流れは同様である。

以上は今年度JVAから伝達講習会で重点的に指導があった項目や、県内大会において発生した事例を基に作成いたしました。

この他に、確認したいルールや取扱いなど御座いましたら、各大会や練習試合などの際に審判員までお尋ねいただけたらと思います。

また、メールでもご質問を受け付けますので、その際は下記アドレスまで福岡県クラブ連盟審判長田中将士宛にご連絡いただいてもかまいません。

また、必要に応じてチームへ出向き、ルール伝達会を催したり、練習試合等へ審判を派遣するお手伝いも、可能な限り対応して参りたいと思います。

そちらにつきましてもお気軽に下記アドレスへお問い合わせください。

2023 年 4 月 15 日

福岡県クラブバレーボール連盟 審判委員会

福岡県クラブバレーボール協会 審判委員長 田中将士 Mail : team@fukuoka-clubvolleyball.com

◆本連盟関係の B 級審判員の方へ

2023 年度 MRS の登録が開始されておりますが、B 級審判員の方も「資格」より B 級審判員として登録を申請して頂きますようお願い致します。

不明な点がございましたらクラブ連盟審判委員会までお知らせ下さい。